

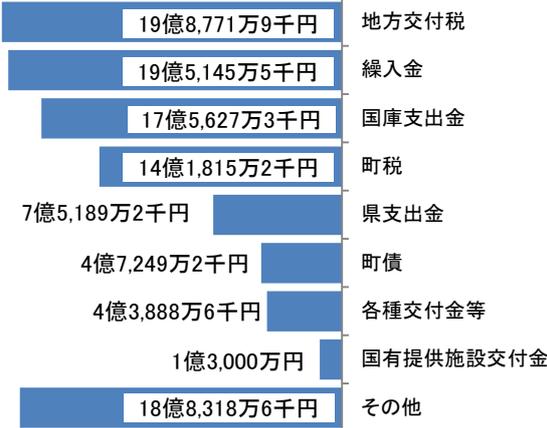
# 平成30年度予算の状況（平成30年9月末現在）

## 一般会計

（各特別会計は4ページをご参照ください。）

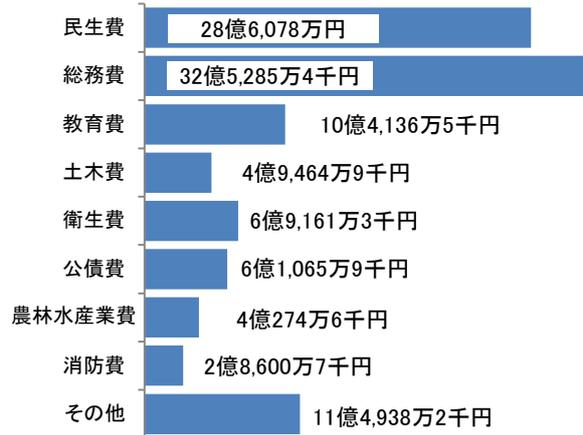
### 歳入

予算額 / 107億9,005万5千円  
収入済額 / 40億8,419万5千円 収納率 37.9%

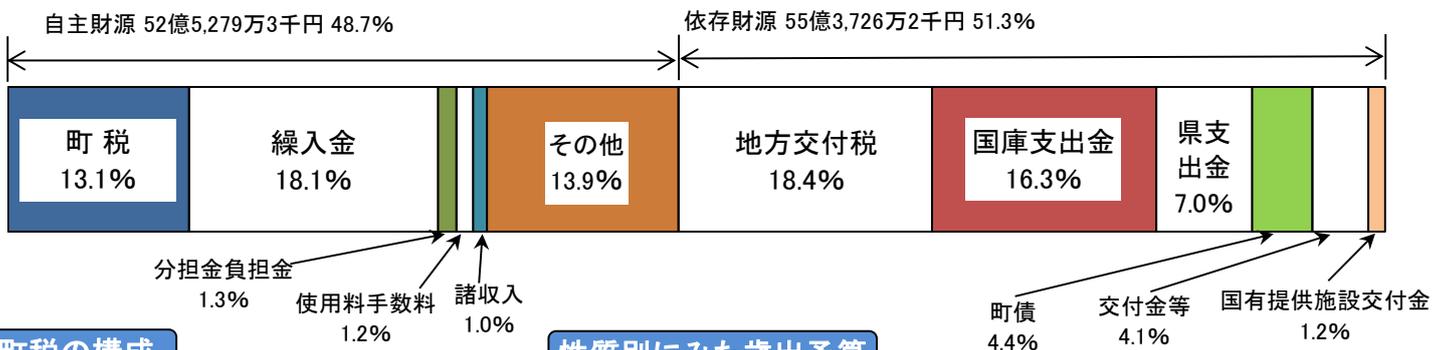


### 歳出

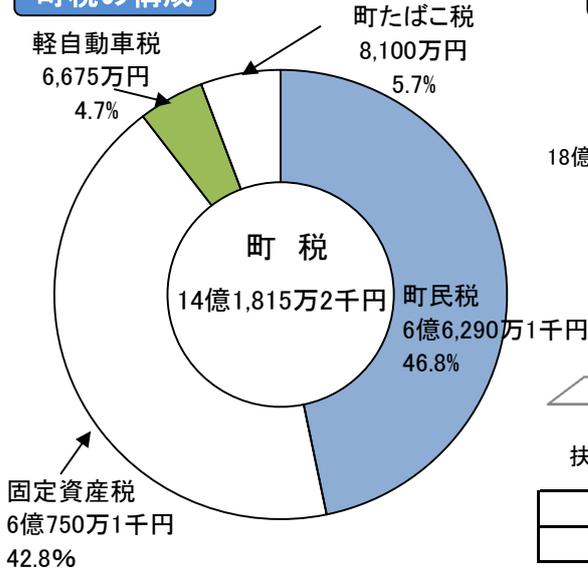
予算額 / 107億9,005万5千円  
支出済額 / 40億9,299万5千円 執行率 37.9%



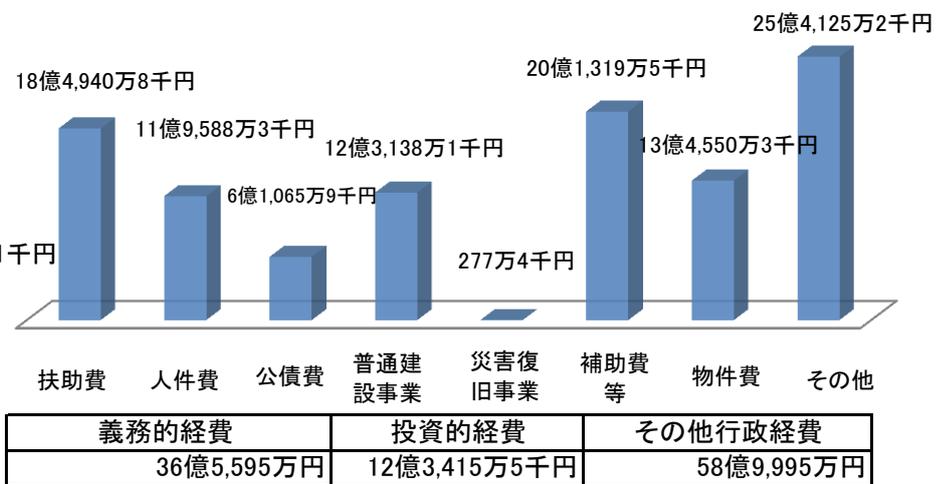
### 財源の構成



### 町税の構成



### 性質別にみた歳出予算



### 町債等（借入金）30年9月末現在高及び負担の状況

区分	町債現在高	町民一世帯当たり残高	町民一人当たり残高
一般会計	59億8,261万5千円	772,449円	341,844円

※ 平成30年10月1日の住民基本台帳の世帯数、人口で除した数値。

◎一時借入金の30年9月末現在の借入金現在高は0円

### 町民の負担の状況（30年9月末現在）

区分	町民一世帯当たり	町民一人当たり	被保険者一人当たり
町税	226,762円	100,353円	
国民健康保険税			98,100円

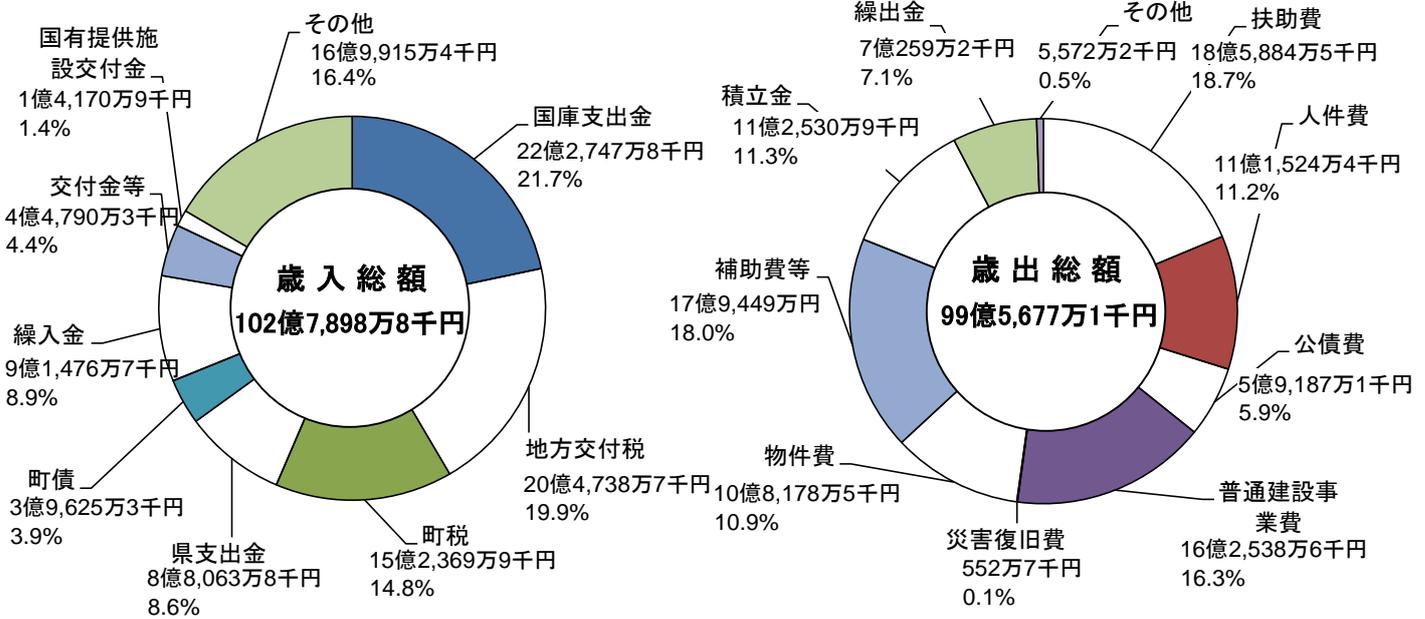
※ 町税は平成30年10月1日の住民基本台帳の世帯数、人口で除した数値。国民健康保険税は平成30年9月30日の被保険者数で除した数値。

# 平成29年度決算の状況

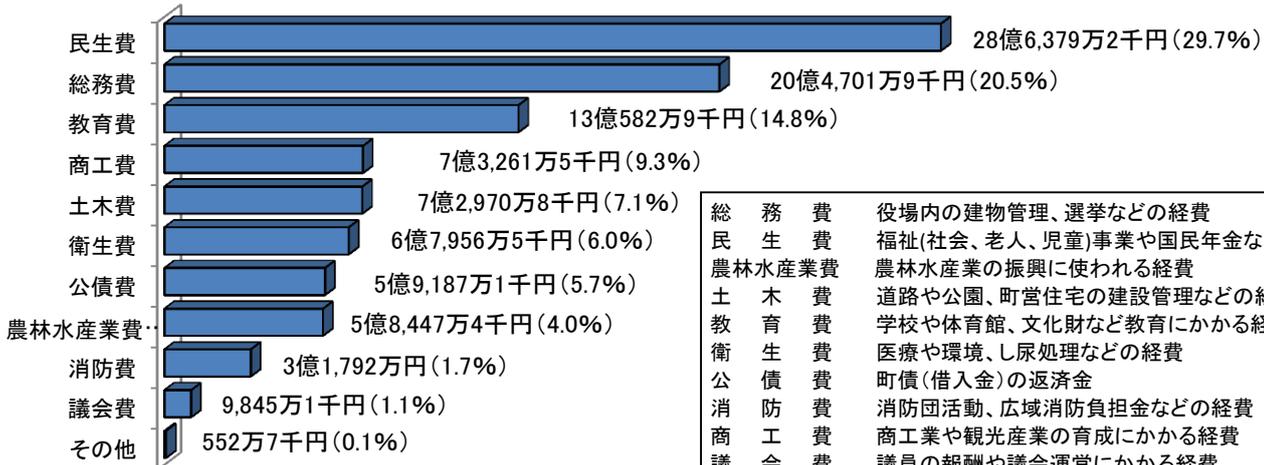
## 一般会計

(各特別会計は4ページをご参照ください。)

平成29年度一般会計の決算額は、歳入が102億7,898万8千円、歳出が99億5,677万1千円で、歳入歳出差し引き額3億2,221万7千円から翌年度へ繰り越すべき財源2,136万9千円を差し引いた実質収支は、3億84万8千円となりました。なお、この数値は国の決算統計に基づき、集計・分析した金額により表記しています。



### 目的別歳出の内訳



総務費	役場内の建物管理、選挙などの経費
民生費	福祉(社会、老人、児童)事業や国民年金などの経費
農林水産業費	農林水産業の振興に使われる経費
土木費	道路や公園、町営住宅の建設管理などの経費
教育費	学校や体育館、文化財など教育にかかる経費
衛生費	医療や環境、し尿処理などの経費
公債費	町債(借入金)の返済金
消防費	消防団活動、広域消防負担金などの経費
商工費	商工業や観光産業の育成にかかる経費
議会費	議員の報酬や議会運営にかかる経費

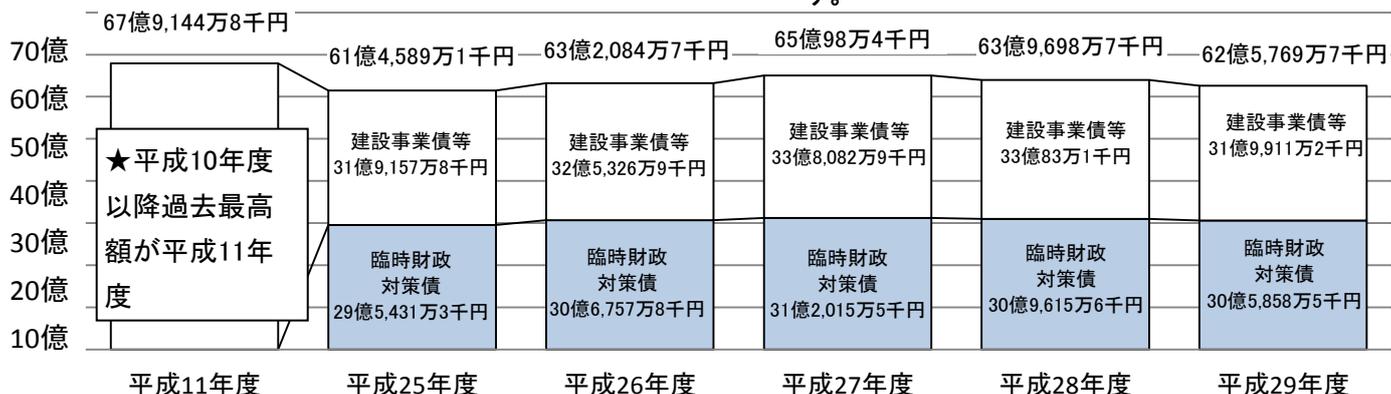
### 最近5年間の決算の状況



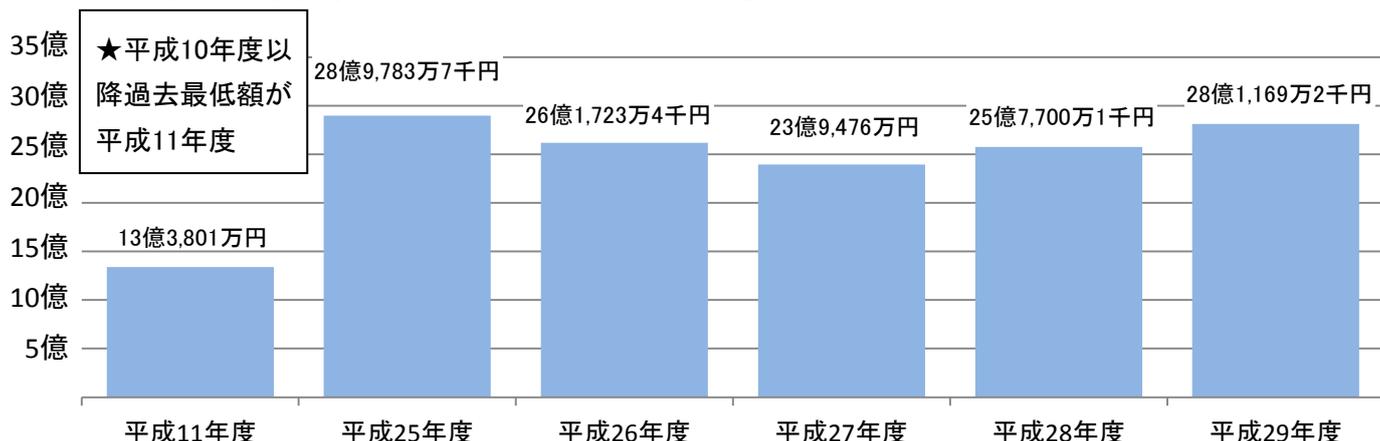
## 町債(借入金)及び基金(積立金)の年度末現在高の状況

### 最近5年間の町(借入金)の状況

※臨時財政対策債は、地方交付税の代替であり地方自治体が借入れを行いますが、発行した臨時財政対策債の元利償還金は、将来地方交付税で交付されることとなっています。



### 最近5年間の基金(積立金)の状況



#### 一時借入金年度末現在高の状況

29年度は一時借入金の借り入れはありませんでした。

#### 基金年度末現在高

区分	金額
財政調整基金	10億701万2千円
がんばる新富町応援基金	4億6,399万5千円
すこやか安心基金	2億5,118万8千円
公共施設等整備基金	1億9,972万9千円
土地開発基金	1億9,384万6千円
地域福祉基金	1億2,516万9千円
農業振興基金	1億786万9千円
家畜導入資金貸付基金	9,940万円
有線ラジオ放送施設運営基金	8,128万円
新富町小中学校教育情報化整備基金	7,840万2千円
減債基金	7,698万1千円
その他(11基金)	1億2,682万1千円
計	28億1,169万2千円

#### 町民の負担状況(30年3月末)

区分	町民一世帯当たり	町民一人当たり	被保険者一人当たり
町税	198,813円	87,083円	
国民健康保険税			117,872円

※町税は平成30年4月1日の住民基本台帳の世帯数、人口で除した数値。国民健康保険税は平成30年3月31日の被保険者数で除した数値。

#### 町有財産の状況

区分	数量及び金額
土地	2,062,422m <sup>2</sup>
建物	111,833m <sup>2</sup>
出資による権利	3,000万4千円
有価証券	310万4千円

#### 町債・基金の一人当たりの残高等

区分	町民一世帯当たり	町民一人当たり
町債	834,680円	365,605円
基金	366,870円	160,696円

※平成30年4月1日の住民基本台帳の世帯数、人口で除した数値。

# 各特別会計の平成30年度予算・平成29年度決算の状況

特別会計

平成29年度決算

平成30年度予算

歳入決算額	歳出決算額	実質収支額	会計名	予算額	収入済額	収納率 執行率
					支出済額	
27億4,991万7千円	25億2,791万7千円	2億2,200万円	国民健康保険事業	20億3,083万5千円	10億4,175万4千円	51.3%
					7億9,812万9千円	39.3%
16億1,854万円	14億8,427万2千円	1億3,426万8千円	介護保険事業	15億5,225万円	7億2,287万3千円	46.6%
					6億2,066万6千円	40.0%
3億8,382万7千円	3億8,258万4千円	124万3千円	後期高齢者医療事業	3億8,659万7千円	1億8,299万4千円	47.3%
					1億4,251万8千円	36.9%
18万7千円	10万5千円	8万2千円	西都児湯情報公開・個人情報保護審査会	14万1千円	22万4千円	158.9%
					3万円	21.3%
			土地取得事業	5億6,578万7千円	3,868万9千円	6.8%
					518万4千円	0.9%

企業会計

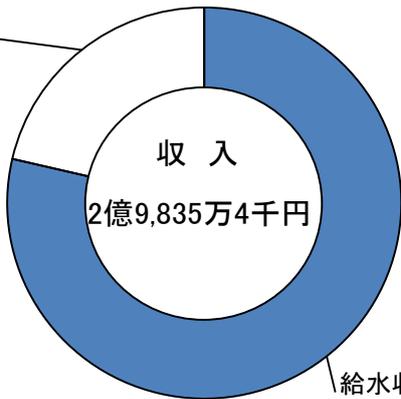
水道事業

平成29年度決算

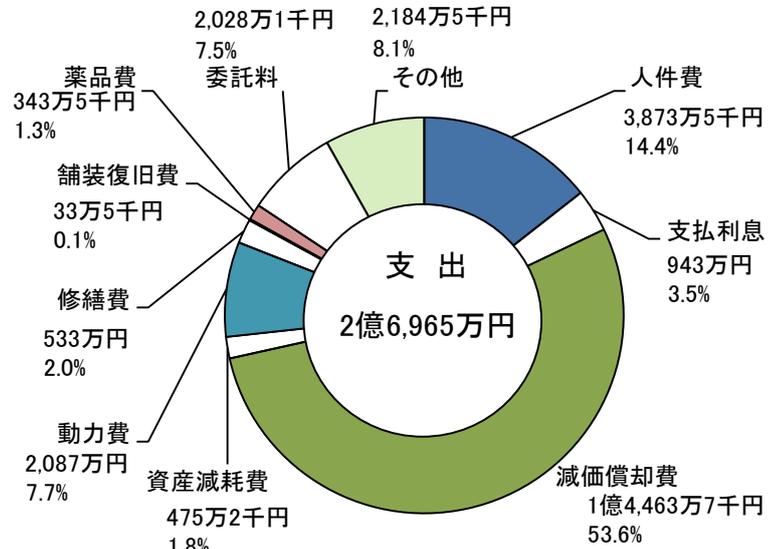
平成29年度の総有収水量は1,855千 $m^3$ (1日平均5,083 $m^3$ )でありました。給水戸数は5,729戸で給水人口は14,111人に水を給水しています。収益的収支では、収入2億9,835万4千円に対し、支出2億6,965万円で差引2,870万4千円の純利益がありました。また、資本的収支では、収入2,711万8千円に対し、支出1億796万5千円で差引8,084万7千円不足した為、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

## 収益的収支

その他  
6,376万6千円  
21.4%

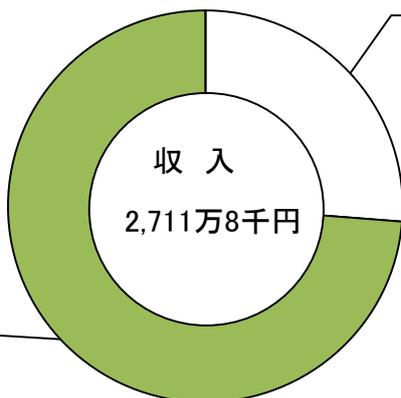


給水収益  
2億3,458万8千円  
78.6%

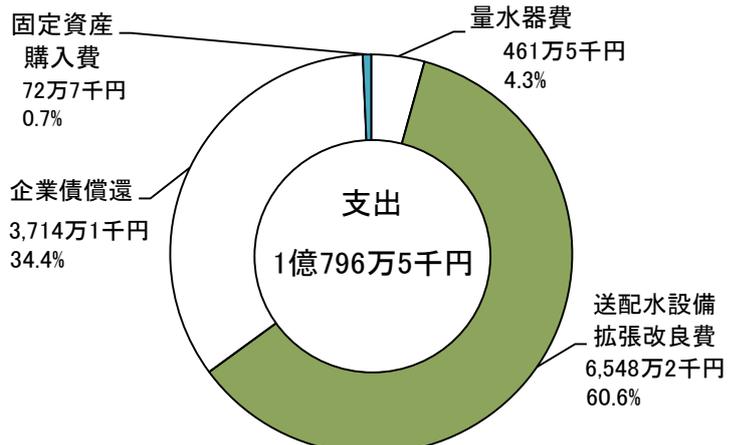


## 資本的収支

企業債  
2,000万円  
73.8%



工事負担金  
711万8千円  
26.2%



※収益的収支とは、1年間の事業活動に伴って発生する収入と支出を損益計算の形で表すもので、いわば企業の経営成績を示すものです。資本的収支とは、1年間に支出した施設の整備拡充等の経費とその財源となる収入を収支の形で表すものです。

貸借対照表 (平成30年3月31日現在) (単位：千円)

借 方		貸 方	
1 土地	59,562	1 建設改良等企業債	514,305
2 建物	415,826	2 退職給付引当金	40,000
3 構築物	1,397,686	3 修繕引当金	15,800
4 機械及び装置	794,487	4 未払金	14,132
5 車両及び運搬具	341	5 引当金	2,480
6 工具及び備品	1,420	6 預り金	0
7 建設仮勘定	0	7 繰延収益	936,015
8 現金預金	627,653	8 資本金	1,258,192
9 未収金	7,219	9 資本剰余金	0
10 貯蔵品	2,183	10 減債積立金	147,505
		11 建設改良積立金	343,201
		12 未処分利益剰余金	34,747
合計	3,306,377	合計	3,306,377

区 分	予 算 額	収入済額	収納率
		支出済額	執行率
収益的	収 入	3億1,322万円	1億2,836万円 40.9%
	支 出	3億1,293万9千円	4,885万2千円 15.6%
資本的	収 入	980万8千円	0千円 0.0%
	支 出	8,916万2千円	1,907万2千円 21.4%

収益的収入 … 水道料・給水負担金等

収益的支出 … 人件費・施設運営費・借入金利息等

資本的収入 … 企業債等

資本的支出 … 水道管布設・企業債償還等

※資本的収支の不足額は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

## 平成29年度決算に基づく財政健全化判断比率

### 財政健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
新富町比率	—	—	9.1 (8.5)	30.5 (42.4)
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.00	

※ 新富町比率欄の、上段の数値は平成29年度決算、下段( )内の数値は前年度(H28)決算となります。

実質赤字比率：普通会計の収支が赤字である場合、その赤字額が標準財政規模に占める割合。

連結実質赤字比率：全会計を合わせた総収支が赤字である場合、その赤字額が標準財政規模に占める割合。

実質公債費比率：全会計及び一部事務組合等の実質的な公債費に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める割合。

将来負担比率：一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合。

※標準財政規模とは、その地方公共団体が標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模。

### 説明

各比率ともに数値が高くなると財政状況の悪化を示します。本町では、普通会計・特別会計ともに黒字決算であるため、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は「—」で表示しています。全ての比率で早期健全化基準内という決算状況でした。また、実質公債費比率については、前年度比率より悪化しましたが、将来負担比率については改善しています。

	資金不足比率
新富町比率	—

資金不足比率：公営企業会計(本町では水道事業会計)において、資金不足があった場合、その不足額が該当事業の規模に占める割合。

### 説明

本町では、水道事業において資金不足が発生していないため、「—」で表示しています。